

## ルールル・ミーティングinしまね (H30) 開催

県内 19 市町村で組織する島根県農業農村整備推進協議会(会長・長岡秀人出雲市長)が主催する「ルールル・ミーティング in しまね (H30)」が7月12日、益田市の島根芸術文化センターグラントワで行われました。今年のテーマは「農村の経済成長・地域活性化の仕組みづくり」とし、農村地域が経済成長し、持続可能な地域社会を目指していくことを目的に開催され、土地改良関係職員、土地改良区及び多面的機能支払活動組織などから約 320 名が参加しました。



基調講演：藤山所長

はじめに岩本一巳吉賀町長より開会の挨拶があり、続いて「田園回帰の時代～農村に人と仕事を取り戻す」と題して、藤山持続可能な地域社会総合研究所長に講演いただきました。講演では人口流出が進む田舎で、年間1%の人口と1%の所得を取り戻すことが出来れば人口は安定する「田園回帰1%戦略」を分析・実例を基に説明され、地域内で「循環型経済」をつくることの重要性を説かれました。

その後、進藤参議院議員より、「我が国の食料と農業・農村を考える」と題して食料自給率を回復される施策の強化を中心とした特別講演をいただき、最後に「農村の経済成長・地域活性化の仕組みづくり」をテーマに、進藤参議院議員、藤山所長、品川二条里づくりの会会長、戸津川(株)キヌヤLBクラブ推進室長、田邊前県西部農林振興センター所長の5名でパネルディスカッションが行われ、農産物や加工品の地域内循環、ドブロクによる農家民泊等の取り組み等の状況報告とともに今後持続可能な地域社会の仕組みづくりについて活発な意見交換が交わされました。



パネルディスカッションの様子

- 「ルールル・ミーティング in しまね (H30)」開催 ..... 1
- 平成31年度当初予算確保に向けて要請活動 ..... 2
- 平成30年度島根県管理運営体制強化委員会、島根県受益農地管理強化委員会開催 ... 3
- お盆期間中の業務について ..... 3
- 県土連「管内別業務説明会」がスタート ..... 4
- 8月の主な予定 ..... 4

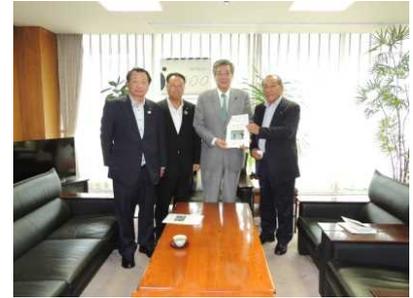
## 平成31年度当初予算確保に向けて要請活動

島根県農業農村整備推進協議会 島根県農地・水・環境保全協議会

島根県農業農村整備推進協議会（会長・長岡秀人出雲市長）と島根県農地・水・環境保全協議会（会長・山碓英樹飯南町長）は7月9日、自由民主党の竹下総務会長、細田博之憲法改正推進本部長、三浦靖衆議院議員、農林水産省、財務省に対して、平成31年度農業農村整備事業の当初予算の確保等について要請活動を行いました。

長岡会長は「本県の活力ある豊かな農業・農村を実現するためには、生産性の向上や集落機能の維持・向上に欠かせない農業農村整備事業を積極的に進め、効果の早期発現をはかる必要があります。中山間地域が8割以上を占める本県においては、農地集積・集約、所得

向上を図る農地整備、農業水路等の機能維持等を図る長寿命化・防災減災対策が急務となっており、また、農村の多面的機能を適切に発揮されるためには、地域資源を地域ぐるみで保全管理できるよう十分な予算確保が必要。先の国会で成立した改正土地改良法により、改良区の運営基盤を強化する体制が整えられたので、その推進に向けた支援の予算確保が重要である」と県内の各事業、制度の取り組みの実施地区を示した資料を基に強く要望されました。



右から長岡県推進協議会会長、竹下総務会長、山碓農地・水・環境保全協議会会長、能美松江市副市長



要請活動の様子  
左：大鹿主計局次長

これに対し、竹下総務会長は「地域を守るためには農林水産業のしっかりした振興が必要であり、それが地方の土台であるという強い認識を持っている」と述べられました。

続いて、財務省主計局の大鹿次長、前田主計官、農林水産省農村振興局の室本次長、奥田部長ほか幹部の方にも同様の資料を示し、県内の厳しい実情を強く訴えて当初予算の確保について要請を行いました。

### 〈要望・提案事項〉

1. 農業農村整備事業関係当初予算について、
  - ① 島根県が取り組む、水田における園芸振興や中核的な農業者の確保等に不可欠な「農業競争力強化対策」
  - ② 高まる自然災害のリスクに備え、特に中山間地域の人々が安心して暮らせる環境を確保するために必要な「国土強靱化対策」を円滑かつ効果的に推進するため、地域の要望に十分応えられる規模を確保すること
2. 多面的機能支払制度について、地域の活動組織が安心して取り組めるよう地域の要望に応じた十分な予算を確保するとともに、活動組織が行う事務の更なる簡素化に配慮すること
3. 今国会で成立した改正土地改良法の趣旨を踏まえ、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を促進するとともに、財務会計制度の見直しが円滑に進むよう必要な支援を行うこと

## 平成30年度 島根県管理運営体制強化委員会、 島根県受益農地管理強化委員会開催

7月2日、土地改良会館にて、平成30年度島根県管理運営体制強化委員会及び島根県受益農地管理強化委員会が開催されました。

管理運営体制強化委員会は、土地改良体制強化事業実施規定に基づいて、本会が行う施設・財務管理強化対策及び研修・人材育成の内容の検討を行うもので、管理強化委員10名の出席のもと、平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画・収支予算について本会より説明しました。



会議の様子

平成29年度事業報告・収支決算については、土地改良施設の管理指導業務として、施設診断、土地改良事業に関する相談業務及び財務管理重点地区の指導等の実施状況を、収支にあっては、費目及び作業別に示して報告し、また平成30年度事業計画・収支予算については、昨年度と同様の活動を展開する旨の説明を行い、両議題とも委員の了承を得ました。

本年度の施設診断指導業務として、6月より実施していますので、会員より要請があれば、調整のうえ追加実施しますので、希望がある場合は、早めに本会の管理情報担当までお問い合わせください。

会議後、中国四国農政局土地改良技術事務所より、土地改良区への支援内容として、①設計・積算基準等に関する問合せの対応、②施設機械や保全技術等に関する研修会の実施、③災害応急用ポンプの貸出しについての情報提供がありました。

ポンプの貸し出しについて、技術事務所所有のポンプ1台（陸上ポンプ：口径100mm、吐出量1.1m<sup>3</sup>/分）を本会に常置しており、無償の貸出が可能ですので、緊急時又は工事用（仮排水）などにお困りの際は、本会まで連絡ください。



診断状況（揚水機場 電気機器類）

受益農地管理強化委員会は、地方連合会が行う受益農地管理強化対策の中で設置することとされており、8名の委員で構成され、受益農地管理強化対策及び研修・人材育成（換地等技術向上研修）の内容の検討を行うものです。委員会では、平成29年度の事業報告及び収支決算について報告され、次に平成30年度の事業計画及び収支予算案として換地事務量、新規着工地区に対する換地選定に関する指導計画、換地技術者等に対する年間研修計画等について提案され、いずれも原案どおり承認されました。

### ～お盆期間中の業務について～

本会では8月13日（月）～16日（木）のお盆期間中は交代で勤務しております。

期間中ご用の方はお気軽にご連絡下さい。

出勤した職員が取り次ぎ必ず担当職員に連絡するよう体制を整備しております。

## 県土連「管内別業務説明会」がスタート = 7月は4管内で実施 =

本会の平成29年度事業及び決算状況について報告する「管内別業務説明会」が7月5日の隠岐管内の説明会を皮切りにスタートしました。

この日会場となった西ノ島町の黒木公民館には、本会会員のほか、県及び管内4町村の農業農村整備事業関係職員など30名が出席しました。

説明会は、はじめに本会の平成29年度の事業報告及び会計収支決算報告が行われ、その後、県農林水産部農地整備課の落合管理監、出口グループリーダーより、「農業農村整備事業の展開方向について」と題して情報提供をいただきました。

県において、農業算出額730億円(100億円増)を目指しており、地域性を活かした収益力の向上に向けて、ほ場整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業〈新規事業〉、農地耕作条件改善事業)の推進を、また、農業施設の維持・更新にあっては、施設機能の安定的な発揮につながる「農業水路等長寿命化・防災減災事業」〈新規事業〉の紹介があり、面積要件がないこと、事業進捗が早いなどのメリットがあることから、この事業の活用を強調されました。

続いて、本会より、土地改良施設のデータ化への取り組みの事例(ドローンによる施設台帳作成ほか)を紹介させていただきました。



隠岐管内業務説明会の様子

### 8月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
8月21日(火)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会(浜田管内)	江津市
8月21日(火)	土地改良区における小水力発電会計の適正化等に関する説明会	岡山市
8月28日(火)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会(雲南管内)	飯南町
8月29日(水)	平成30年度管内別業務説明会及び意見交換会(益田管内)	吉賀町



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
 ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール [smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)